ＡＴＨＥＮＡ　アテナ（1998）

メディア TV
ジャンル ＳＦ　アドベンチャー
製作国 日本
色彩 Color
TV放映 1998/04/06 ～ 1998/06/29
月曜日
２５：４５～２６：１５
テレビ東京

【解説】
　バイオテクノロジーを中心とした研究開発により一大コンツェルンへと成長したＷＡＤは、その企業都市に両親と暮らす１７歳の少女・麻宮アテナを厳重な監視下に置いていた。やがてアテナは激しい頭痛と共にテレパシー、サイコメトリー、テレキネシス等の超能力を発現させていく。
　そんなアテナの前に現れた奇妙な青年シュウ。ＷＡＤの幹部研究者でありシュウの育ての親でもある椎名まどかは、アテナの身柄拘束に失敗するとアテナに好意を示すシュウをそそのかし、超能力でアテナに戦いを挑むように仕向ける。何故まどかは執拗なまでにアテナの命を狙うのか。アテナの出生とＷＡＤの関係とは。多くの謎の解けぬまま、超常現象マニアの先輩ヒロキ、スクープ記者菅野の助けを借り、アテナはＷＡＤからの逃避行を開始するのだった……。
　ＳＮＫの横スクロール・アクションゲーム「サイコソルジャー」のメインキャラ麻宮アテナを主人公にした、やはりＳＮＫの３Ｄアドヴェンチャーゲーム「アテナ」が原案のサイキックＳＦ。
　自分の能力への不安感や周囲の人間への不信を石橋けいが丁寧に演じ、良質のドラマに仕上がっている。超能力の描写も印象的で、ＣＧによる光線技の応酬といった安易な手法ではなく、色彩を基調とした画面が不思議な効果をもたらした。ゲームのシナリオに引きずられたためか、後半立て続けに登場する、コウモリ山の魔法陣、超古代遺跡のミイラ、人工知能タンタロス、古代人の末裔・黄雷人（はんらいびと）といった一連の設定には違和感を覚えるものの、運命に流されるままの少女が自分の進む道を自ら見い出していく展開は、久々に良質のジュブナイルを感じさせるものであった。なお、放映時にはサブタイトルの表記は無いが、各話の最後に表示される「Go to the ○○ Stage」のテロップをここではサブタイトルとした。全１２回。

【クレジット】

監督	小久保利己	
	門奈克雄	
	土岐善将	
	池上純哉	
企画	井上光晴	
プロデューサー	木川康利	
	東田眞一	
制作	石矢博	
	傳野貴之	
	神戸將光	
	鈴木和子	
	佐野泰章	
原案	ＳＮＫ	「サイコソルジャー」「アテナ」
脚本	鈴木貴子	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

	岡崎由紀子	
	前川洋一	
	野沢純子	
	BONTA	Bonta
	堀内寅	
撮影	久家裕二	
	永田貴樹	
	阿部大輔	
美術	澤路和範	
編集	乙竹薫	
	吉岡聡	
	井上秀明	
アクション	所博昭	
ビジュアルエフェクト	馬場昭吏	
	平野明	
	加藤桂子	
	井手広法	
	小川義房	
音効	原田慎也	
	高島慎太郎	
	メディアハウス	
ナレーター	滝本ゆに	
	高橋かすみ	
出演	石橋けい	麻宮アテナ
	窪塚洋介	大沢ヒロキ
	松尾政寿	シュウ
	大谷允保	矢部リカ
	楠見尚己	麻宮太郎
	しみず霧子	麻宮今日子
	西尾真理	矢部香苗
	下山栄	大泉
	鬼界浩巳	小泉
	長倉大介	菅野渡
	宮本大誠	甲斐高次
	並樹史朗	兵藤譲
	神保美喜	椎名まどか
	野口雅弘	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.